

株式会社ユニリタ
(JASDAQ 3800)
2014年度 (2015年3月期)
決算説明会資料



2014年度 連結業績（前期比）

（単位：百万円）

区分	2013年度		2014年度		前期比	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上高	4,203	100.0%	7,120	100.0%	+2,916	+69.4%
売上原価	513	12.2%	1,625	22.8%	+1,112	+216.8%
販売費及び一般管理費	2,509	59.7%	4,028	56.6%	+1,519	+60.6%
営業利益	1,181	28.1%	1,465	20.6%	+284	+24.1%
経常利益	1,241	29.5%	1,575	22.1%	+333	+26.9%
当期純利益	799	19.0%	1,020	14.3%	+220	+27.6%

2014年度 業績のポイント

1. 上場来最高の売上と利益を達成

- 前期比で売上高69.4%増、営業利益24.1%増
- (株)ビーコンIT連結化
- メインフレーム事業の製品販売増加、利益押し上げ要因に
- グループ会社の業績好調

2. 新事業構造の構築元年としての打ち手を実施

- 成長市場に対応するための戦略的投資（既存事業からの人材シフト）
- ビッグデータ領域への対応として、有力パートナーとの販売提携
- BPM（ビジネス・プロセス・マネジメント）事業の立ち上げ、技術者増員

2014年度 業績のポイント

3. グループ・シナジーの基盤づくり

- 組織融合、統合推進（オフィス統合、ビジョン研修）
- クロスセールスによるお客様ニーズの掘り起こし

4. 資本施策

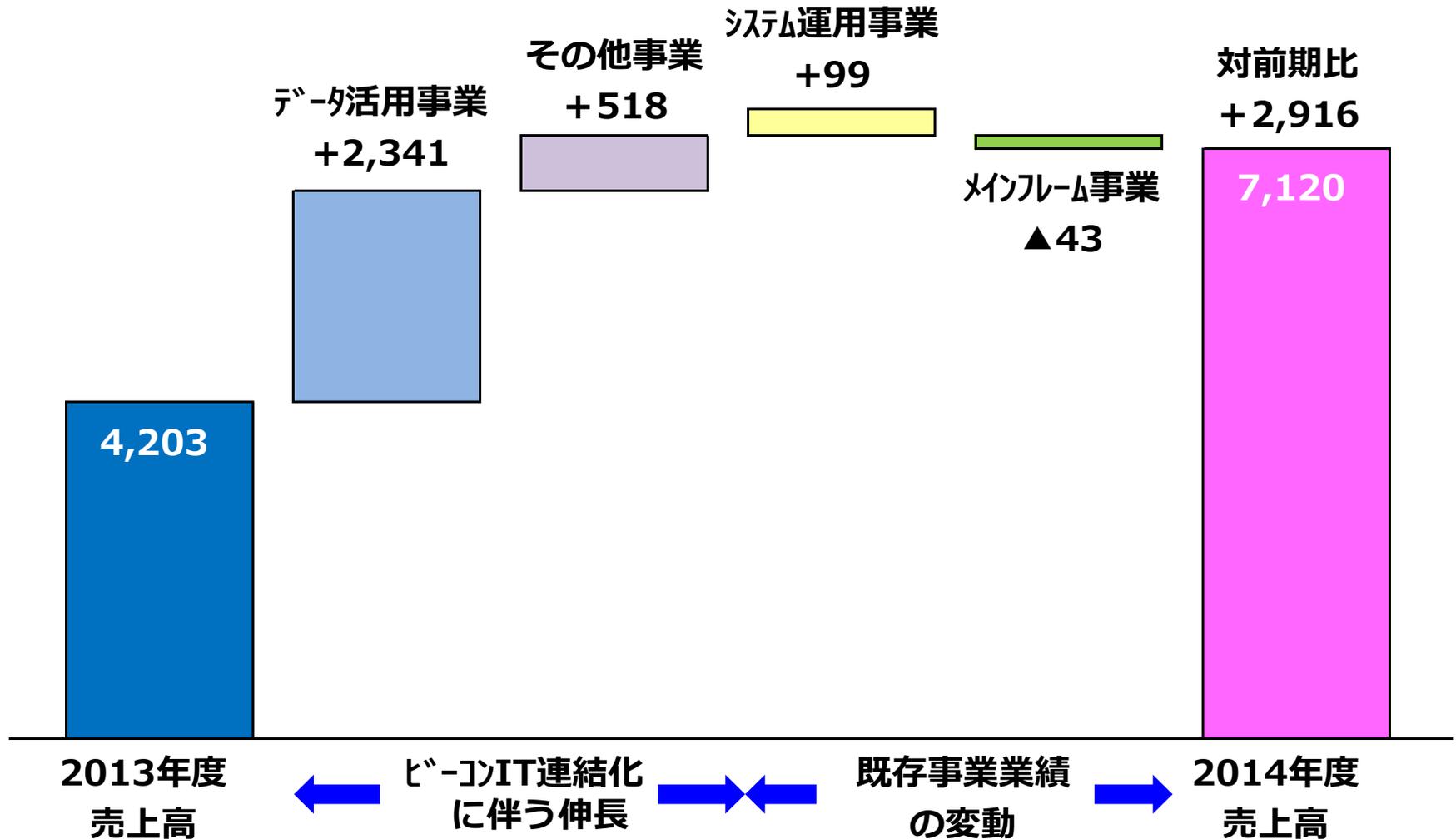
- 自己株取得→子会社合併時に株式割当に充当（新株発行なし）
- 株式流動性向上、株主づくりのために株式分割を実施

（1株を2株に分割）

- ・ 株主数は1年間で3.3倍の5,242名に

2014年度 売上高の増減要因

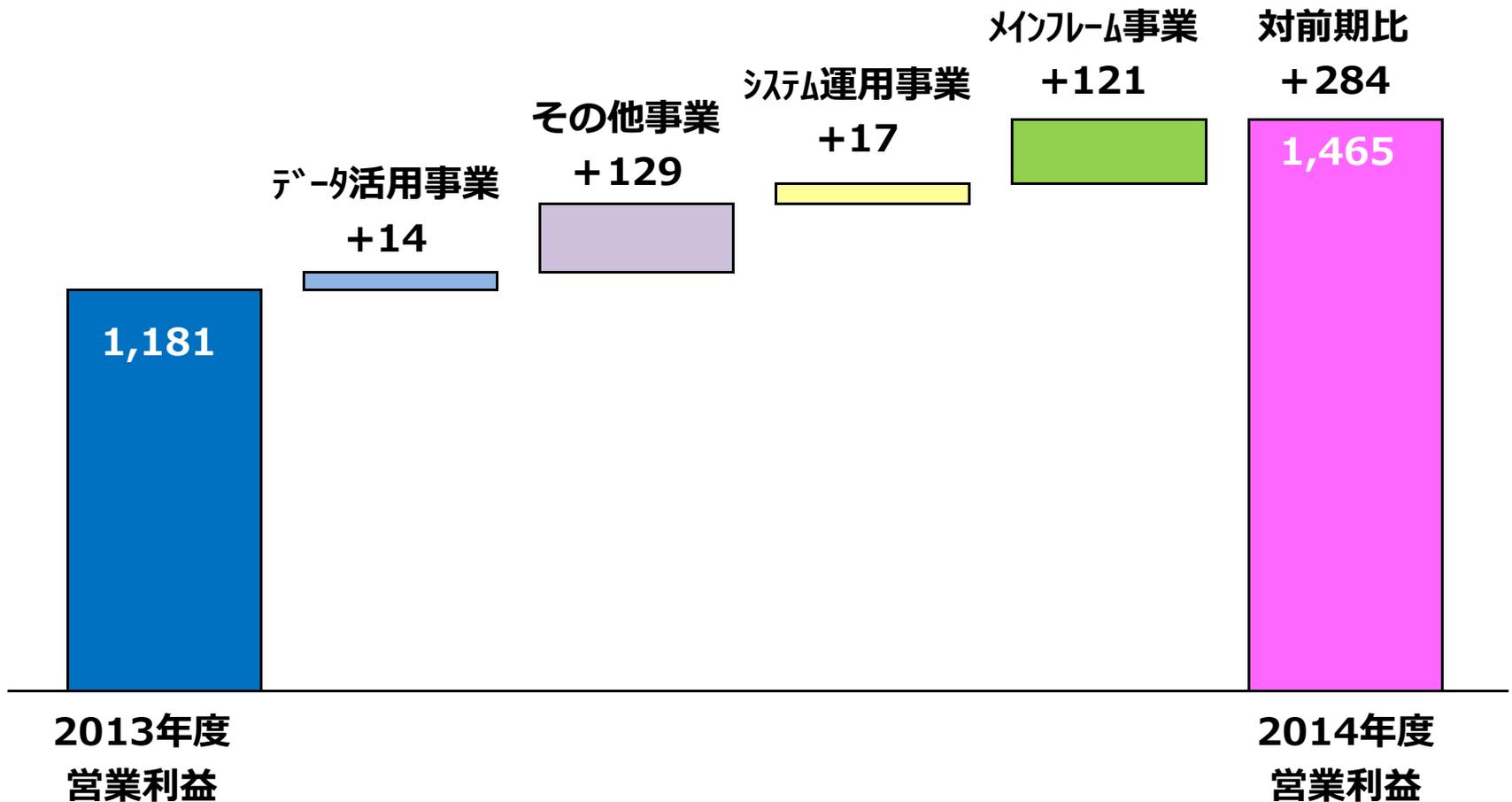
(単位：百万円)



2014年度 営業利益の増減要因

将来成長のために戦略的な分野への先行投資

(単位：百万円)



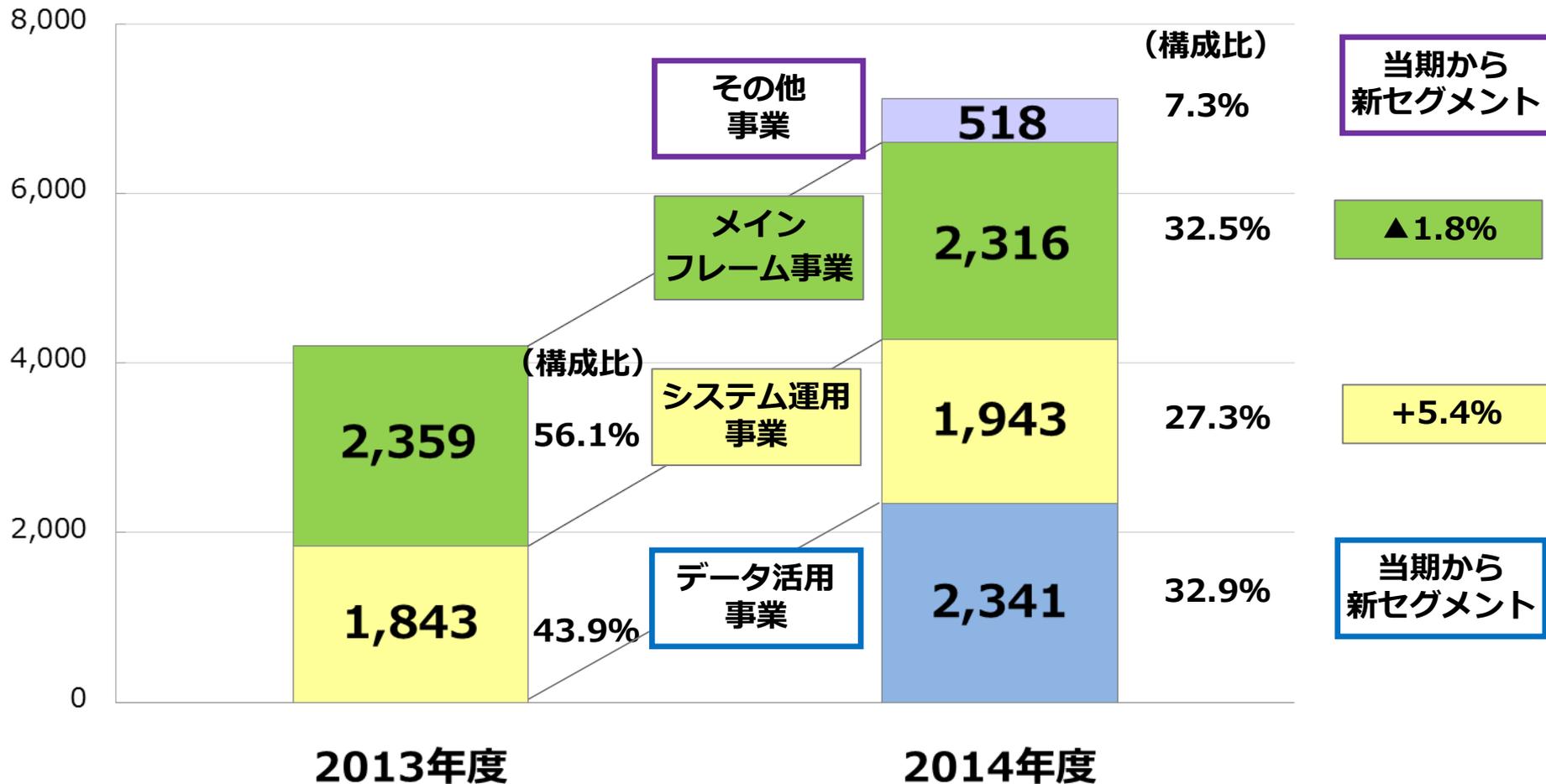
連結売上高比較（セグメント別）

（単位：百万円）

合計：4,203

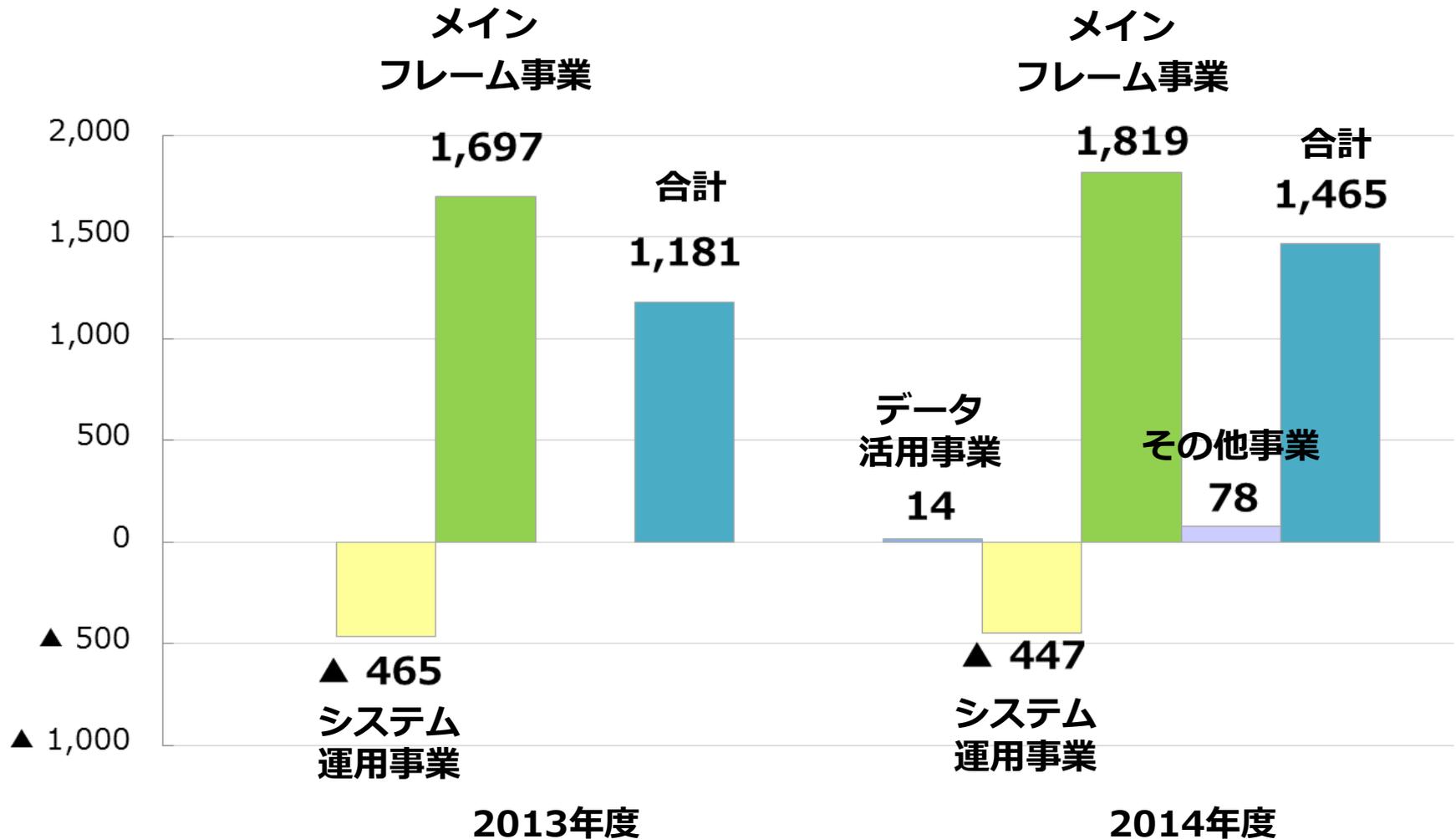
合計：7,120

前期比



連結営業利益比較（セグメント別）

（単位：百万円）



連結売上高の内訳（セグメント別）

（単位：百万円）

		2013年度	2014年度	前期比	
				増減額	増減率
データ活用事業	製品	-	383	-	-
	技術支援	-	874	-	-
	保守料	-	1,084	-	-
	小計	-	2,341	-	-
システム運用事業	製品	521	370	▲ 150	▲ 28.9%
	技術支援	711	949	+238	+33.5%
	保守料	610	623	+12	+2.0%
	小計	1,843	1,943	+99	+5.4%
メインフレーム事業	製品	531	571	+40	+7.6%
	技術支援	69	47	▲ 22	▲ 32.0%
	保守料	1,758	1,697	▲ 61	▲ 3.5%
	小計	2,359	2,316	▲ 43	▲ 1.8%
その他事業		-	518	-	-
合計		4,203	7,120	+2,916	+69.4%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2013 年度	2014 年度	増減額		2013 年度	2014 年度	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				流動負債合計	2,136	2,107	▲ 28
現金及び預金	5,605	5,927	+321	固定負債合計	724	482	▲ 242
流動資産合計	8,971	9,502	+530	負債合計	2,861	2,589	▲ 271
固定資産				(純資産の部)			
有形固定資産	164	136	▲ 27	株主資本合計	7,281	8,087	+806
無形固定資産	219	215	▲ 3	内 利益剰余金	5,005	5,780	+775
ソフトウェア	212	212	-	その他の包括利益 累計額合計	80	165	+84
投資その他	2,058	2,072	+14	少数株主持分	1,189	1,084	▲ 105
固定資産合計	2,441	2,424	▲ 16	純資産合計	8,551	9,337	+785
資産合計	11,412	11,926	+514	負債純資産合計	11,412	11,926	+514

- ・ 流動資産 : 営業C/F (917百万円) と財務C/F (▲582百万円) による現預金 (321百万円) 増加
- ・ 固定負債 : 有利子負債 (88百万円)、役員退職慰労引当金 (99百万円)、繰延税金負債 (157百万円) の減少

第1次中計から第2次中計へ

(単位：百万円)

第1次中期経営計画

第2次中期経営計画

<2012年度 → 2014年度>

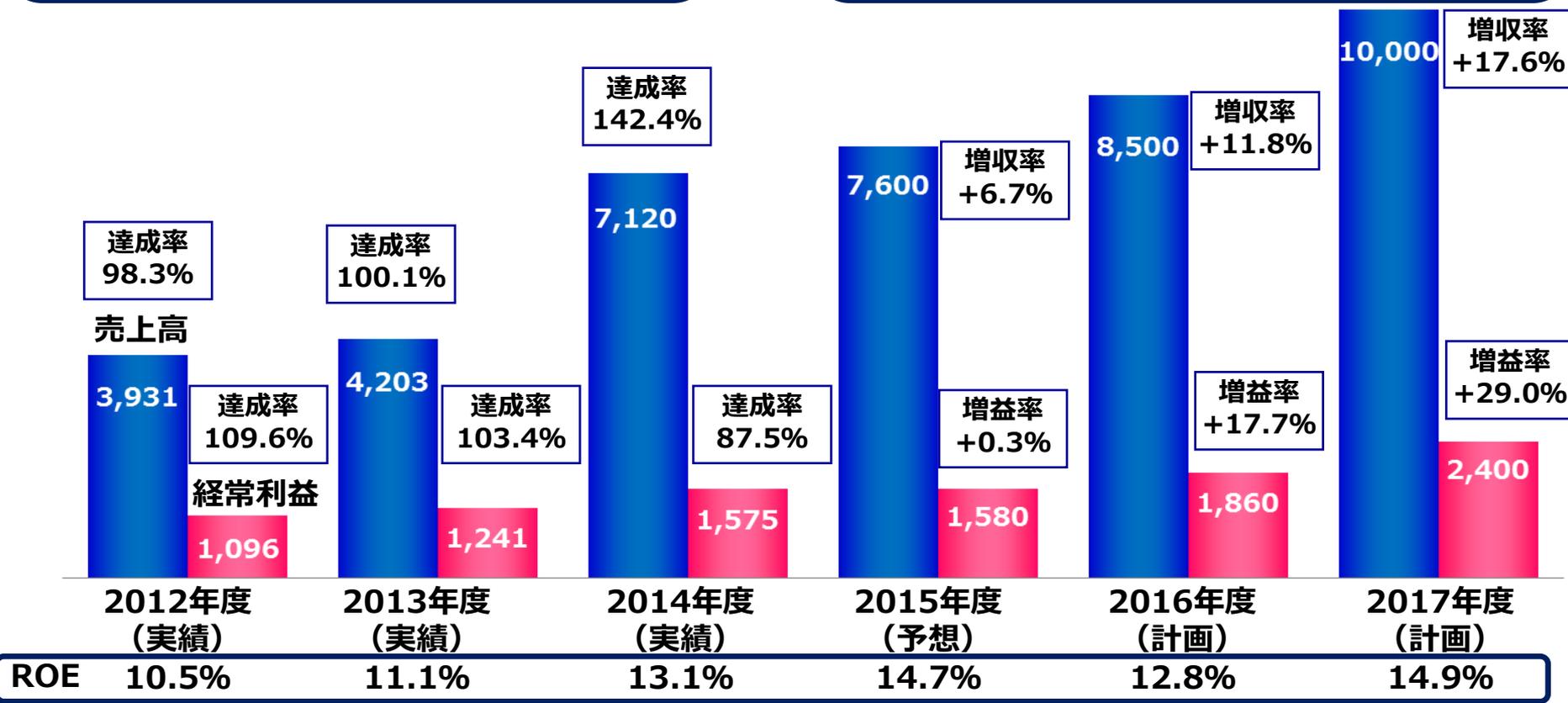
「Beyond the Operations Management」
システム運用の未来とその先へ

- 売上高、経常利益：2014年度 上場来最高更新
- ビーコンIT子会社化→2015年4月合併

<2015年度 → 2017年度>

「10 billion Empathy Plan」

お客様からの共感を得て、
売上100億円への挑戦



第2次中期経営計画の戦略意思

日本に数少ない独立系の自社開発のパッケージソフトウェアメーカーとして、独自の製品、サービスにより、売上100億円の共感を得る

- 「維持」「新規」「期待」「成長」の領域で技術力向上の投資（売上比5%～10%）を行い、製品力、サポート力を向上させる
- 古い技術と新しい技術の入れ替えにより、既存人材を活性化させ、提案能力の幅を広げる
 - ・ 既存技術者比で年20～25%、新技術の習得を図る
- 自由と責任、スピードある元気な子会社をつくる
 - ・ 社内インキュベーションの育成、M&Aの活用

2015年度の重点施策

パッケージソフトウェアメーカーとしての製品開発力ならびにサービス力強化

- 事業の性質、ミッションに合わせ、合併後の事業推進体制、組織を再編
- 営業要望を優先して短いサイクルで開発推進

お客様の経営課題解決に必要とされるIT人材の強化

- 技術系社員の人材セットを新技術へ入れ替える
(実務運用アプローチ、認定資格取得アプローチ、技術者発表会活動アプローチ、MIJS製品技術力強化アプローチ)

新・企業文化創り

- 文化創造プロジェクト外活動の推進

事業領域、ポートフォリオ売上計画

新規開拓 成長領域	新規ビジネス	市場拡大製品群	成長率 10%~ 50%超	独自のSaaS製品 ビジネスアプリケーション
	ハイパースケール			BPM ITプロセス新自動化 Be.Cloud データナリティクス モバイル、ソーシャル ITSM (BPMとの同期)
維持領域	エンタープライズ	生産性向上製品群	成長率 0%~10% 前後	ITSM (サービスオペレーション) 自動化、帳票、 ETL、BI
				メインフレーム事業 ⇒ ▲5% 他社プロダクト外事業 ⇒ 加減
縮小領域			成長率 ▲5%以内	

新規開拓、
成長領域



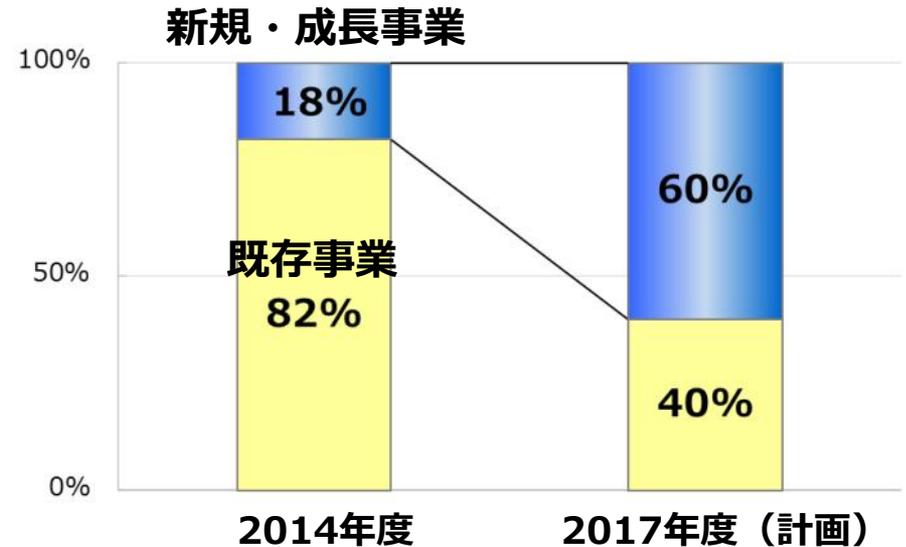
2014年度 2015年度
(実績) (計画)

技術の入れ替え



新規・成長事業 技術者構成比

- 毎年20～25%の技術者を新技術対応可能人材に転換
- 実践を通じた技術転換のために営業要望を優先した短サイクル開発
- 社内インキュベーションによる事業育成



2015年度 連結業績見通し

(単位：百万円)

区分	2014年度		2015年度		前期比	
	実績	売上比	予想	売上比	増減額	増減率
売上高	7,120	100.0%	7,600	100.0%	+480	+6.7%
営業利益	1,465	20.6%	1,500	19.7%	+35	+2.3%
経常利益	1,575	22.1%	1,580	20.8%	+5	+0.3%
当期純利益	1,020	14.3%	1,280	16.8%	+260	+25.4%
1株当たり配当額 (円)	40.00	-	45.00	-	+5.00	-
配当性向	30.0%	-	29.4%	-	▲0.6%	-

※2014年度の1株当たり配当額は、2014年12月末基準で行った株式分割を考慮し、遡及修正しています。

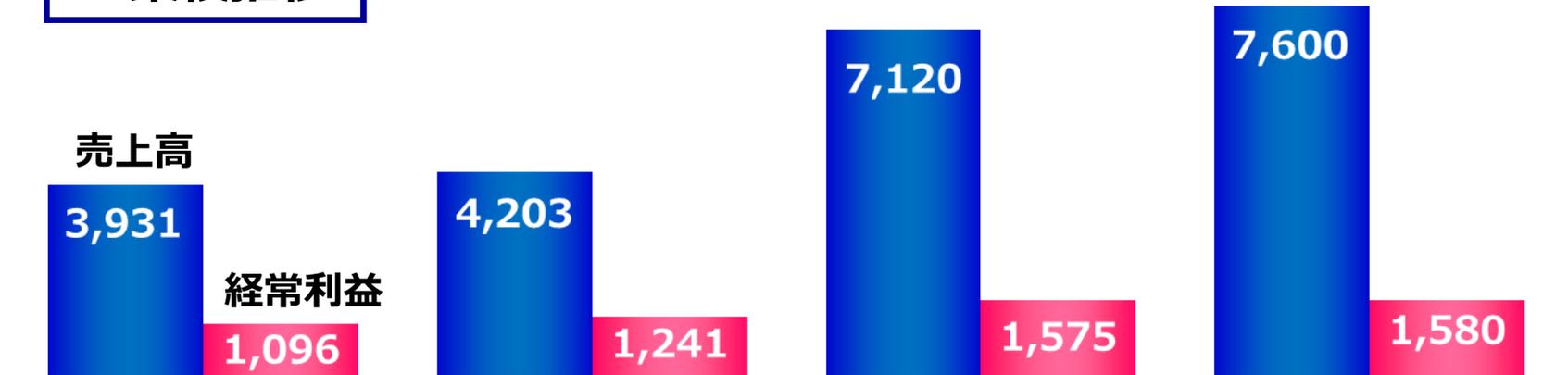
※普通配当（中間、期末各々）：2014年度 17円50銭 → 2015年度 20円00銭

※合併記念配当（2回実施）：2014年度 期末5円00銭 → 2015年度 中間5円00銭

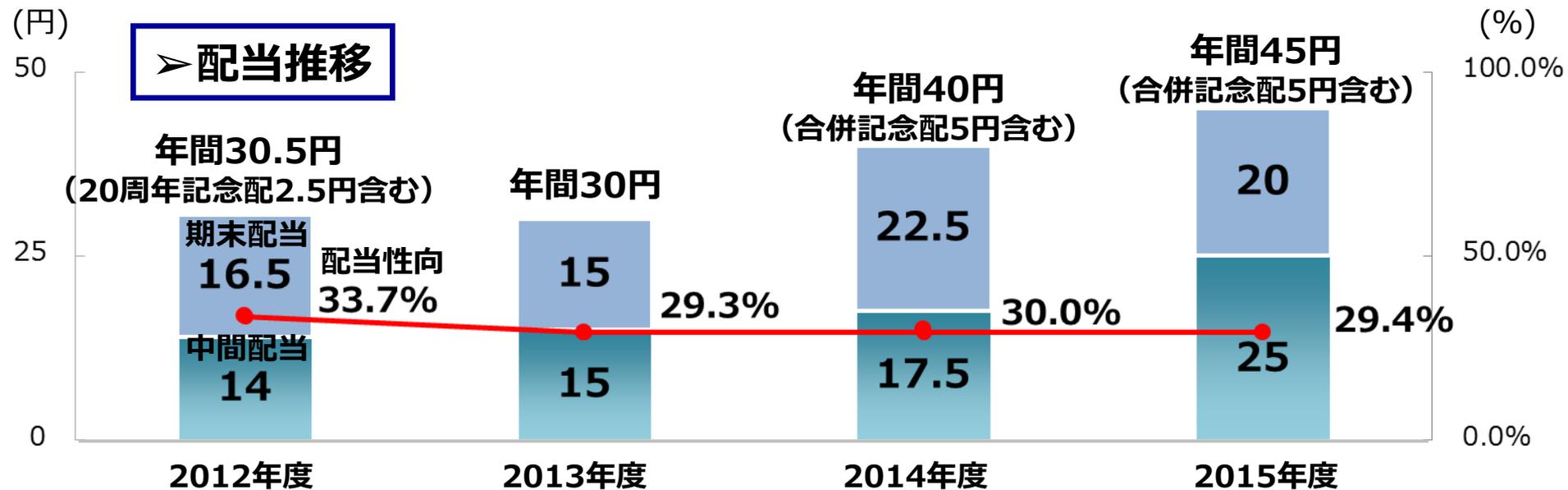
業績推移と配当

(単位：百万円)

業績推移



配当推移



3期連続増配を見込む
配当性向30%以上を目標

參考資料

ユニリタグループの沿革

1976年 設立

ビーコンIT

1996年

データ総研

2000年

アスペックス

2001年

ビーティス

2007年

BIT上海

2014年

連結子会社化

2015年 4月

合併

1993年 運用関連の事業継承

BSP

2015年
BSP上海とBIT上海
合併予定

株式会社ユニリタ

2001年

BSP
ソリューションズ

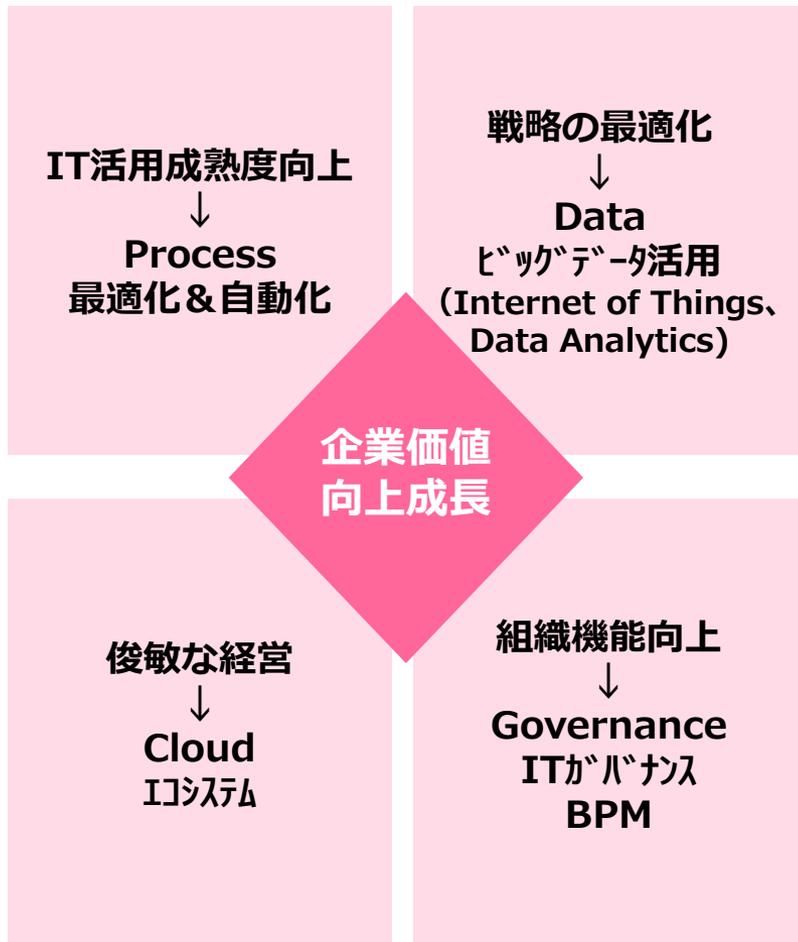
2008年

BSP上海

「価値創造のために『ユニークな発想』で『利他の精神』をもってお客様と社会の発展に貢献する企業を目指す」という想いを込めています。

ユニリタグループの事業領域

お客様の目的領域



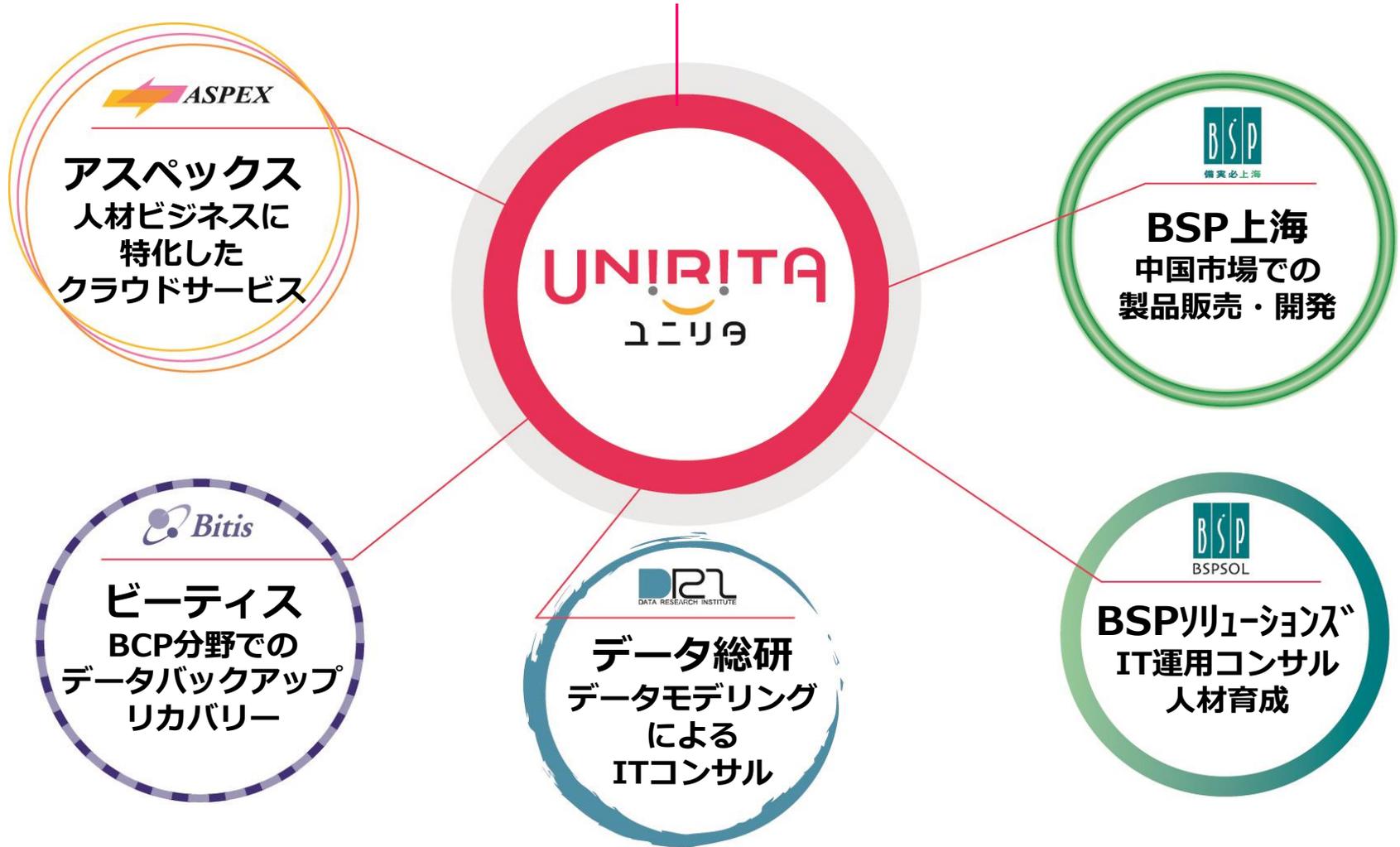
グループ事業領域と強み



ユニリタグループ 体制

自社開発のパッケージソフトウェアメーカー

データ活用とシステム運用を通じてビジネスに貢献



連結事業別セグメント

(単位：百万円)

区分	2013年度		2014年度		前期比	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上高	4,203	100.0%	7,120	100.0%	+2,916	+69.4%
データ活用事業	-	-	2,341	32.9%	-	-
システム運用事業	1,843	43.9%	1,943	27.3%	+99	+5.4%
メインフレーム事業	2,359	56.1%	2,316	32.5%	▲43	▲1.8%
その他事業	-	-	518	7.3%	-	-
営業利益	1,181	100.0%	1,465	100.0%	+284	+24.1%
データ活用事業	-	-	14	-	-	-
システム運用事業	▲465	-	▲447	-	+17	-
メインフレーム事業	1,697	-	1,819	-	+121	+7.2%
その他事業	-	-	78	-	-	-
営業利益率	28.1%	-	20.6%	-	▲7.5%	-

資本施策と株主還元

第1次中期経営計画
(2012年度 - 14年度)

第2次中期経営計画
(2015年度 - 17年度)

<p>資本施策</p>	<p>2015年1月 株式分割</p> <p>2015年4月 子会社合併 (自己株割当)</p> <p>自己株の84%を充当 ・新株発行なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 社内インフラ・サービス事業の育成 ➢ 新規・成長事業でのM&A ➢ 株式流動性向上、株主数増加 ➢ 東証2部上場目標
<p>株主還元</p>	<p>2012年度 期末 20th 記念 配当</p> <p>2013年度 中間・期末 増配</p> <p>2014年度 中間・期末 増配</p> <p>2014年度 期末 2015年度 中間 合併 記念 配当</p> <p>2015年度 中間・期末 増配</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自己株式取得を含む株主還元施策も検討 ➢ 長期保有株主増加のための安定配当の継続
<p>その他</p>	<p>2014年度 期末 株主 優待</p>	

会社概要

- 設 立 :** 1982年5月
1993年7月 ITシステム運用事業を本格開始
2015年4月 (株)ビーコンITと合併し、(株)ユニリタに社名変更
- 本 社 :** 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
- 主 要 株 主 :** (株)ビジネスコンサルタント、(株)リンクレア、
三菱UFJキャピタル(株)、(株)三菱東京UFJ銀行他
- 事 業 内 容 :** データ活用およびITシステム運用に関わるパッケージソフト
ウェアの開発・販売・保守
- 上 場 :** 東京証券取引所JASDAQ市場(証券コード：3800)
- 子 会 社 :** (株)アスペックス、(株)ビーティス、BSP上海、
(株)BSPソリューションズ、(株)データ総研

【お問合せ先】

株式会社ユニリタ

広報IR室

TEL : 03-5463-6384

FAX : 03-5463-6392

<http://www.unirita.co.jp/>
ir_info@unirita.co.jp

-
- 1)本資料は、当社の決算概要および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり投資勧誘を目的として作成したものではありません。
 - 2)本資料に記載の情報は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。
 - 3)本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ユニリタに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。
-